

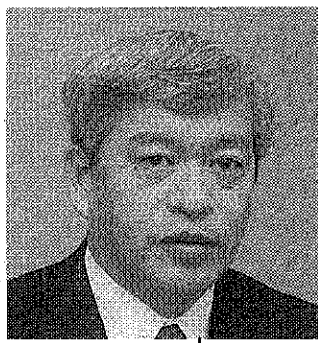
適正な建築コスト管理構築へ

「に東京に本部を置く建築積算事務所連合会が発足し、関西でも連合会の地域組織を作った。当初は積算事務所の地位向上を図ろうなどと話し合っていた。」

「しかし相変わらず、建築コストの不透明さは指摘された。とりあえず正会員11社に続き、景気低迷により採算度外視の受注も横行。さ

らに発注方式が多様化し、VEやCM、PFIの導入も相次ぎ、「建築コストと接している私たちがもっと積極的に動かなければならぬ」と関西で建築コスト実務のことならすべてわか

らに発注方式が多様化し、VEやCM、PFIの導入も相次ぎ、「建築コストと接している私たちがもっと積極的に動かなければならぬ」と関西で建築コスト実務のことならすべてわか



建築コストセンター理事長に就任した宮川 明夫氏

今年5月にも認証予定の特定非営利活動法人(NPO)「建築コストセンター」の理事長に15日の設立総会で就任。建築コストを対象にしたNPOは全国でも例がない。コスト削減の風が吹き荒れる中、適正なコスト管理の構築を目指した組織が船出した。もともと「日本建築積算協会の事務所部会廃止を受けて、02年

5月にNPO法人化へ

建築コストセンターが設立総会開く

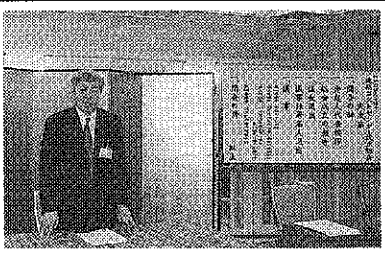
透明性・効率性を向上

建築コストの透明性と建築コスト管理技術の向上を目的とした「建築コストセンター(BCC)」の設立総会が大阪市中央区のホテルで開かれた。初代理事長には宮川明夫氏が就任、5月の特定非営利活動法人(NPO)者

の設立総会が大阪市中央区のホテルで開かれた。初代理事長には宮川明夫氏が就任、5月の特定非営利活動法人(NPO)者

の設立総会が大阪市中央区のホテルで開かれた。初代理事長には宮川明夫氏が就任、5月の特定非営利活動法人(NPO)者

の設立総会が大阪市中央区のホテルで開かれた。初代理事長には宮川明夫氏が就任、5月の特定非営利活動法人(NPO)者



創設が決まった。当初は積算事務所としての地位向上などを目的としていたが、建築コストに対する発注者の目が一層厳しくなり、建築コストの

創設が決まった。当初は積算事務所としての地位向上などを目的としていたが、建築コストに対する発注者の目が一層厳しくなり、建築コストの

総合積算に変更し、社長に就任。78年日本建築積算協会関西支部役員、91年同協

透明性・効率性を確保することが社会から求められていると判断し、新組織設立を昨年5月ごろに決定。一般消費者に受け入れやすい組織とするため、NPO法人を目指すことになった。設立時の正会員は11社。

会長は「建築コストの範囲を超えた企業の参加によって、社会ニーズに応えていただきたい。活躍を期待している」と述べた。

今後、BCCでは、建築コストの技術ネットワークを構築するため、建築設計事務所や構造事務所、設備事務所、マネジメント会社にネットワーク会員としての参画を呼びかけていく。